貯湯式　電気湯沸器

取扱説明書

SB型

Aタイプ
EW-N3A-SB
EW-N4A-SB

BT型

Aタイプ
EW-N3A-BT
EW-N4A-BT
ET-N4A

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置、ご使用ください。

設置工事（試運転）後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。

（本書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、弊社は一切責任を負いません。）

株式会社　日本イトミック

プロティスシリーズ
PROTICE

安全にお使いいただくために

この度は日本イトミック製品をお買いあげいただきまして誠にありがとうございました。
安全にお使いいただくために取り扱いを誤った場合の危害、損傷の程度を下記に表示してあります。本書をよくお読みいただき、内容をご理解の上、末永くご使用ください。

安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、お守りいただく事項を記載しています。設置の前に、必ず本書をお読みになり、内容をよく理解された上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方にお渡しください。

警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。

⚠**警告** この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』内容です。

⚠**注意** この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される』内容です。

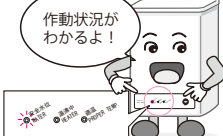
△の記号は、注意(警告を含む)をうながす事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。
(左図の場合は『高温注意』という意味です。)

⃠の記号は、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。
⃠の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
(左図の場合は『分解禁止』という意味です。)

●の記号は、しなければならない行為(強制行為)を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
(左図の場合は『電源プラグをコンセントから抜くこと』という指示です。)

重要事項：必ずお守りください

⚠警告	
	アース（D 種接地）工事を確認してください。 アース工事がされないと故障や漏電発生時に感電するおそれがあります。
❗	**電圧は定格電圧の± 10%以内でお使いください。** 火災の原因となります。
	必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。 万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。
	排水時は必ず本体の電源を切ってから行ってください。 感電のおそれがあります。
	絶対に改造はしないでください。 火災、感電、やけど、ケガの原因となります。
⃠	**屋外に設置しないでください。** 感電、故障の原因となります。
	本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。
	濡れた手で電源の操作を行わないでください。 感電のおそれがあります。

安全にお使いいただくために

⚠警告

	湿気の多い場所や浴室には設置、使用しないでください。 水が掛かったり結露が生じる場所で使用すると故障、感電のおそれがあります。
	設置、メンテナンス時以外は本体蓋を開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口、排水管に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出ることがありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

⚠注意

	湯沸器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。
	水道水以外は使用しないでください。 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	長期間のご使用によって湯槽内に水アカがたまったり 、配管材料の劣化などによって水質が変わることがありますので、固形物や変色、にごり、異臭があった場合は飲用にしないでください。 健康を害するおそれがあります。
	EW シリーズ：本体は湯沸器の満水質量に耐えられる十分な強度を持つ壁面に必ず垂直に設置してください。 落下の原因となります。
	ET シリーズ：本体は湯沸器の満水質量に耐えられる十分な強度を持つ調理台などに必ず水平に設置し、付属の耐震バンドで壁面に必ず垂直に固定してください。 転倒、漏水の原因となります。
	給湯、給水接続配管はステンレス製もしくは銅製のものを使用してください。 漏水の原因となります。
	BT 型：満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。
	貯湯温度が 80℃未満の場合は、やかんなどで沸かしてからお飲みください。 健康を害するおそれがあります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。給水圧が高い場合は必ず減圧弁を取り付けてください。 誤動作、故障の原因となります。
	水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。 配管が破損してやけどをするおそれがあります。
	長期間使用しない場合は湯槽の水を抜いてください。 水質が悪化するおそれがあります。

製品の特長

本製品には下記のような特色があります。運転のしかたにそれぞれの機能を生かした使用方法が記載されています。十分にお読みいただき、ご活用ください。

共通の特色

1 スイッチを一つ押すだけで運転開始。操作が簡単です。

2 LEDランプで作動状況を表示します。

3 開放型なのでカルキが抜けて飲料用に適した高温給湯（約 99℃が可能です。

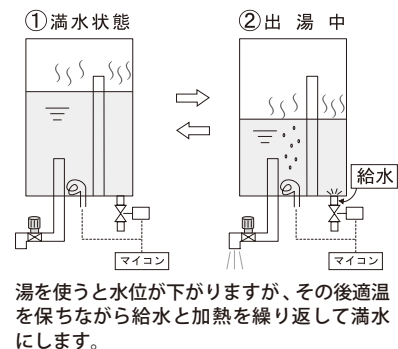
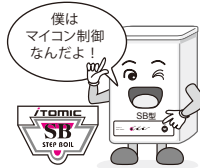
4 空焚き、過昇温検出機能など安全装置を装備。

EW-N3A-SB、EW-N4A-SBの特長

5 給水、給湯制御にステップボイル方式採用の EW-SB 型は温度と水位をマイコンでコントロールして常に湯槽内のお湯を約 90℃以上の適温に保って運転します。また湯槽内の部品が小さいため同寸法の BT 型よりも 2~3 リットル貯湯量が大きくなります。

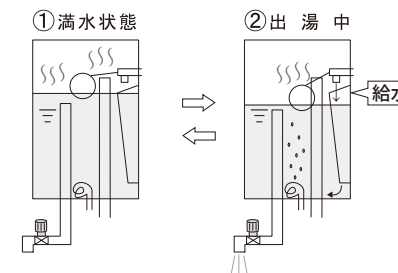
■ SB 型の原理

SB 型はマイコンと電磁弁でお湯の温度を常に約 90℃以上に保つように給水を制御して運転します。そのため同程度の貯湯量の BT 型よりも断続して使えるお湯の量は多くなります。（ただし、出湯能力以上の湯を出すと湯切れを起こしますので、お湯の使いすぎにはご注意ください。）

湯を使うと水位が下がりますが、その後適温を保ちながら給水と加熱を繰り返して満水にします。

EW-N3A-BT、EW-N4A-BT、ET-N4Aの特長

6 給水制御にボールタップを使用するボールタップ方式採用の BT 型の温度制御はシンプルな電子サーモ方式。

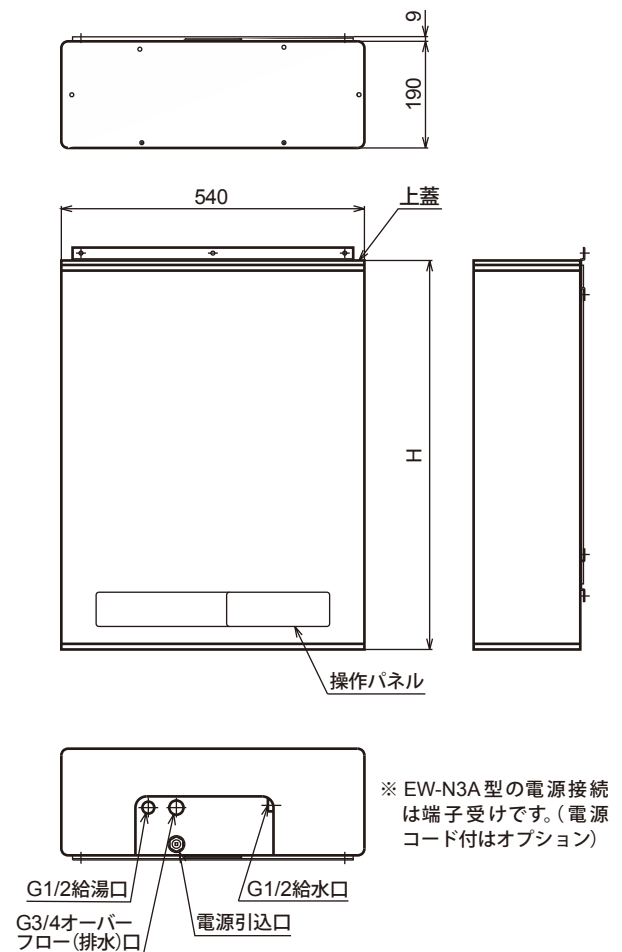
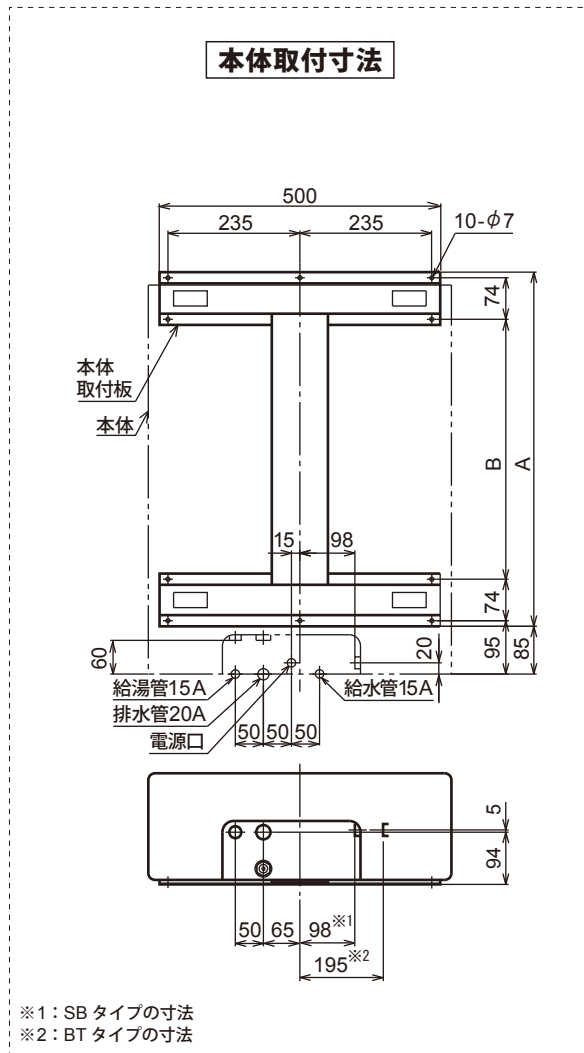
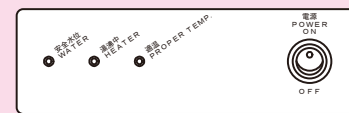
■ BT 型の原理

BT 型はお湯を使用して水位が減った分を湯温に関係なく機械的に給水します。そのため、連続出湯した場合にはお湯の温度が下がることがありますので、少量ずつ湯を使用する場合に適しています。

EW、ET シリーズ共通仕様

項目	仕様
設定温度	約 99℃（工場出荷時に変更している場合は異なります。）
給水圧力	0.1 ～ 0.3MPa
給水・給湯接続口径	G1/2 （15A）
排水接続口径	G3/4 （20A）
一次側使用水温	40℃以下（凍結しないこと）
使用雰囲気温度	0 ～ 40℃（凍結しないこと）
設置場所	屋内

EW-N3A（壁掛型）

※ EW-N3A 型の電源接続は端子受けです。（電源コード付はオプション）

仕様表

標準電源……単相 100V ／ 200V

SB（ステップボイル）型						BT（ボールタップ）型					
項目／型番	貯湯量（リットル）	※3 標準ヒーター容量（kW）	※4 給湯予測値（沸き上がり温度99℃の場合）①沸き上がり時間（分）	※4 給湯予測値 ②飲用専用時連続給湯予測値	満水質量（kg）	項目／型番	貯湯量（リットル）	※3 標準ヒーター容量（kW）	※4 給湯予測値（沸き上がり温度99℃の場合）①沸き上がり時間（分）	※4 給湯予測値 ②飲用専用時連続給湯予測値	満水質量（kg）
EW-23N3A-SB	23	1.5／2.0	90／68	193 杯	36	EW-20N3A-BT	20	1.5／2.0	79／59	168 杯	33
EW-33N3A-SB	33	1.5／3.0	129／65	277 杯	52	EW-30N3A-BT	30	1.5／3.0	118／59	252 杯	49
EW-43N3A-SB	43	1.5／3.0	168／84	361 杯	66	EW-40N3A-BT	40	1.5／3.0	157／79	336 杯	63

※3：左は単相100V、右は単相200V のヒーター容量です。
※4：能力以上の給湯は行えません。この値を目安としてお使いください。
①沸き上がり時間：左は単相100V、右は単相200V。（水温15℃で算出）
②飲用専用時連続給湯予測値：1 人当たり約 90℃のお湯を 100cc 使用したものとして算出。（食器洗いなどにお使いになる場合は条件が異なります。）

寸法表

（単位mm）

	EW-23N3A-SB EW-20N3A-BT	EW-33N3A-SB EW-30N3A-BT	EW-43N3A-SB EW-40N3A-BT
H	560	693	826
A	498	631	764
B	330	463	596

EW-N3A型の離隔距離

消防法 基準適合 組込形

この湯沸器は「消防法設置基準」に基づく試験基準に適合しております。建築物の可燃物等からの離隔距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。
（※ただし実際の据え付けの際には必ずメンテナンススペースをお取りください。）

場所	離隔距離（cm）
上方	0
左方	0
右方	0
前方	0
後方	0
下方	0

EW-N4A（壁掛型）

仕様表

標準電源……単相 100V／200V

SB（ステップボイル）型						BT（ボールタップ）型					
型番＼項目	貯湯量（ﾘｯﾄﾙ）	※1 標準ヒーター容量（kW）	※2 給湯予測値（沸き上がり温度99℃の場合）①沸き上がり時間（分）	※2 ②飲用専用時連続給湯予測値	満水質量（kg）	型番＼項目	貯湯量（ﾘｯﾄﾙ）	※1 標準ヒーター容量（kW）	※2 給湯予測値（沸き上がり温度99℃の場合）①沸き上がり時間（分）	※2 ②飲用専用時連続給湯予測値	満水質量（kg）
EW-14N4A-SB	14	0.75／0.75	110／110	105 杯	22	EW-12N4A-BT	12	0.75／0.75	94／94	100 杯	20
EW-22N4A-SB	22	1.5／1.5	86／86	185 杯	31	EW-20N4A-BT	20	1.5／1.5	79／79	168 杯	29
EW-32N4A-SB	32	1.5／2.0	126／94	269 杯	48	EW-30N4A-BT	30	1.5／2.0	118／88	252 杯	46
EW-48N4A-SB	48	1.5／3.0	188／94	403 杯	67	EW-45N4A-BT	45	1.5／3.0	176／88	378 杯	64
EW-68N4A-SB	68	1.5／4.0	266／100	571 杯	91	EW-65N4A-BT	65	1.5／4.0	254／96	546 杯	88

※1：左は単相100V、右は単相200Vのヒーター容量です。※2：能力以上の給湯は行えません。この値を目安としてお使いください。①沸き上がり時間：左は単相100V、右は単相200V。（水温15℃で算出）②飲用専用時連続給湯予測値：1人当たり約90℃のお湯を100cc使用したものとして算出。（食器洗いなどにお使いになる場合は条件が異なります。）

寸法表

（単位mm）

	EW-14N4A-SB EW-12N4A-BT	EW-22N4A-SB EW-20N4A-BT	EW-32N4A-SB EW-30N4A-BT	EW-48N4A-SB EW-45N4A-BT	EW-68N4A-SB EW-65N4A-BT
D	250	250	250	320	320
W	360	360	360	450	450
H	480	599	747	694	867
A	412	531	680	610	784
B	156	216	290	255	342
E	280	280	280	320	320
F	130	130	130	150	150

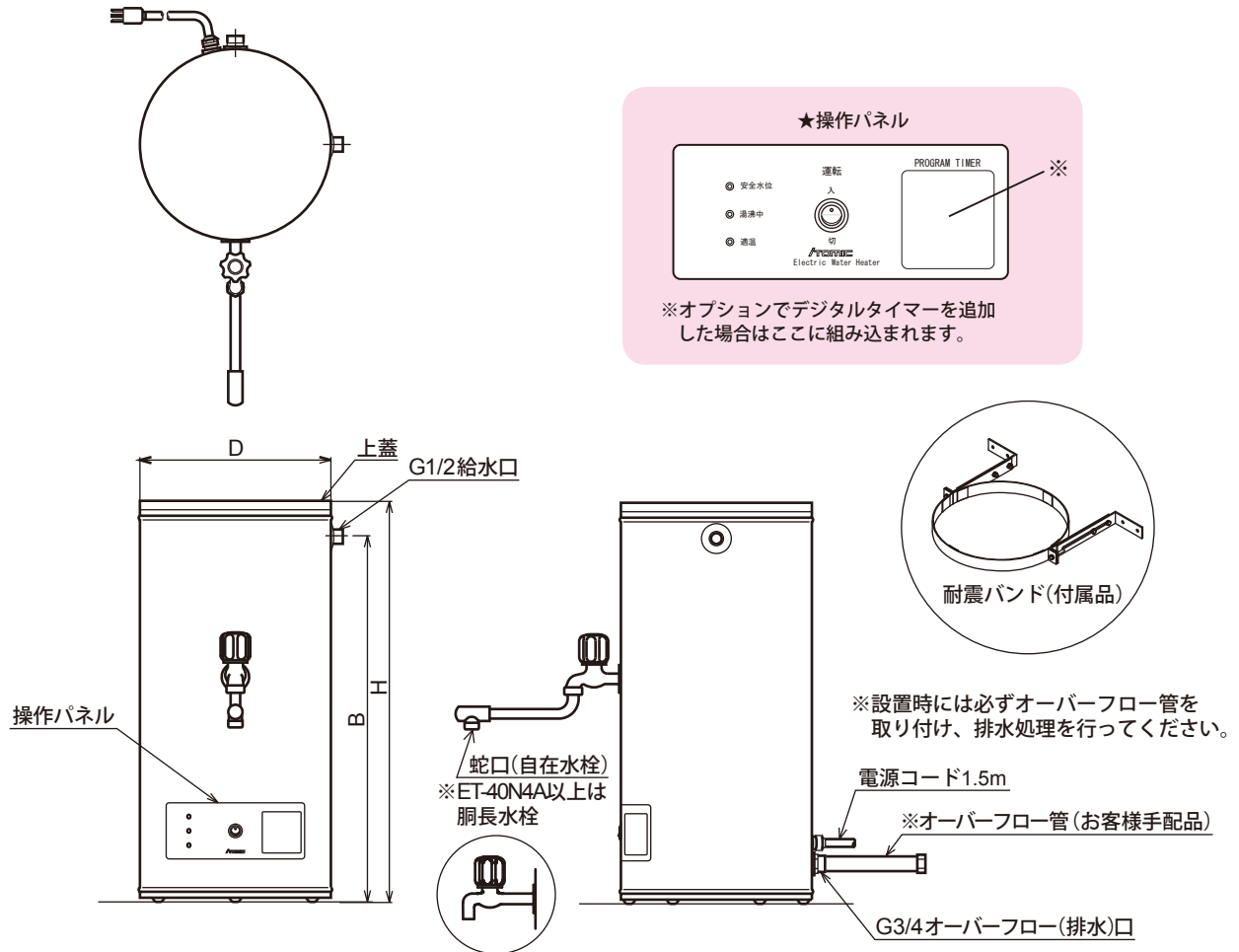
EW-N4A型の離隔距離

消防法 基準適合 組込形

この湯沸器は「消防法設置基準」に基づく試験基準に適合しております。建築物の可燃物等からの離隔距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。

（※ただし実際の据え付けの際には必ずメンテナンススペースをお取りください。）

場所	離隔距離（cm）
上方	0
左方	0
右方	0
前方	0
後方	0
下方	0

■ ET-N4A(置台型)

仕様表

標準電源……単相 100V ／ 200V

項目／型番	貯湯量(リットル)	※1 標準ヒーター容量(kW)	※2 給湯予測値(沸き上がり温度99℃の場合) ①沸き上がり時間(分)	②飲用専用時連続給湯予測値	満水質量(kg)
ET-12N4A	12	0.75／0.75	94／94	100 杯	20
ET-20N4A	20	1.5／1.5	79／79	168 杯	29
ET-40N4A	40	1.5／2.0	157／118	336 杯	55
ET-60N4A	60	1.5／3.0	235／118	504 杯	78
ET-90N4A	90	1.5／4.0	352／132	756 杯	114
ET-180N4A	180	1.5／5.0	704／211	1512 杯	221

※1：左は単相100V、右は単相200V のヒーター容量です。
※2：能力以上の給湯は行えません。この値を目安としてお使いください。
①沸き上がり時間：左は単相100V、右は単相200V。（水温15℃で算出）
②飲用専用時同時給湯予測値：使用湯温を 90℃とし、100cc ／杯で算出。
（食器洗いなどにお使いになる場合は条件が異なります。）

寸法表

（単位mm）

	ET-12N4A	ET-20N4A	ET-40N4A	ET-60N4A	ET-90N4A	ET-180N4A
D	φ 320	φ 320	φ 390	φ 410	φ 450	φ 570
H	532	672	787	912	1047	1182
B	472	612	722	847	982	1117
蛇口	自在水栓		胴長水栓			
蛇口数	1		2			

ET-N4A型の離隔距離

消防法 基準適合 組込形

この湯沸器は「消防法設置基準」に基づく試験基準に適合しております。建築物の可燃物等からの離隔距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。
（※ただし実際の据え付けの際には必ずメンテナンススペースをお取りください。）

場所	離隔距離(cm)
上方	0
左方	0
右方	0
前方	0
後方	0
下方	0

運転時の注意事項

⚠ 警告

	本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。
	設置、メンテナンス時以外は本体蓋を開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
	給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、給湯蛇口、排水管に直接触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出ることがありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

⚠ 注意

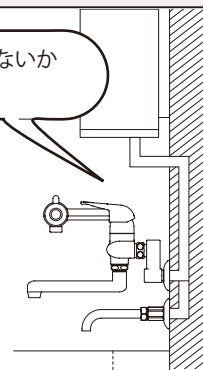
	湯沸器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。
	水道水以外は使用しないでください。 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	貯湯温度が 80℃以下の場合は飲用にしないでください。 健康を害するおそれがあります。
	長期間のご使用によって湯槽内に水アカがたまったり 、配管材料の劣化などによって水質が変わることがありますので、固形物や変色、にごり、異臭があった場合は飲用にしないでください。 健康を害するおそれがあります。
	EW シリーズ：本体は湯沸器の満水質量に耐えられる十分な強度を持つ壁面に必ず垂直に設置してください。 落下の原因となります。
	ET シリーズ：本体は湯沸器の満水質量に耐えられる十分な強度を持つ調理台などに必ず水平に設置し、付属の耐震バンドで壁面に必ず垂直に固定してください。 転倒、漏水の原因となります。
	給湯、給水接続配管はステンレス製もしくは銅製のものを使用してください。 漏水の原因となります。
	BT 型：満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。 誤動作、故障の原因となります。
	長期間使用しない場合は湯槽の水を抜いてください。 凍結して湯槽が破損したり、水質が悪化するおそれがあります。

その他の注意事項

1	瞬間的にお湯を沸かすことができない貯湯式のため、運転開始から沸かし上げには時間がかかります。 また、出湯能力以上のお湯は一度に供給できません。（仕様表 P.3 ～ 6 参照） ＜給湯を続けた場合＞ SB 型…一定水位までは適温を保ちますがその後安全水位ランプが点滅し、湯温が下がりはじめます。 BT 型…徐々に湯温が下がり、最後に水になります。
2	開放型のため給湯圧力は落差分だけです。通常の水道のような水圧はありません。 **EW シリーズは、一般の混合水栓ではお湯と水を十分混合できません。** **関連商品の混合水栓『まぜまぜ』（型式：MZ-N3）シリーズをご使用ください。→ P.17 参照** **また、『まぜまぜ』は湯沸器一台につき 1 つの取付けとしてください。（湯沸器一台に対し、複数の『まぜまぜ』を取付けることはできません。）**
3	標高の高い場所でお使いになる場合、沸騰点が下がります。事前に弊社にお問い合わせください。 ※ 標高 800m ～ 1,000m の場合…95℃　1,000m ～ 2,000m の場合… 90℃
4	水検知を電極で行っていますので、純水もしくは純度の高い水では使用できません。 硬度の高い水は電極にスケールが付きやすくなりますので、定期的なメンテナンスが必要です。メンテナンスについては弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までお気軽にお問い合わせください。
5	オーバーフロー（排水）管をふさがないでください。 湯気が本体と蓋のすき間から吹き出し、湯沸器付近の壁や天井に影響を及ぼす原因となります。

運転方法（SB型） EW-N3A-SBシリーズ EW-N4A-SBシリーズ

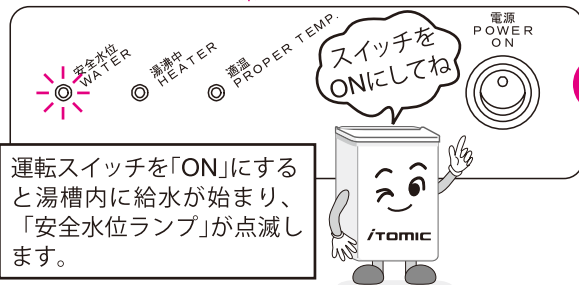
■ 初めてお使いになるとき

1 止水栓を開ける ※この時点ではまだ給水されません。

2 電源を入れる

電源プラグがある場合は、コンセントに差してから、一次側の漏電ブレーカをONにしてください。

警告	**運転時、プラグはコンセントに確実に差し込み、湯沸器専用の漏電ブレーカは確実に押し上げてください。**火災のおそれがあります。**濡れた手で電源の操作を行わないでください。**感電のおそれがあります。

3 スイッチをONにして、安全水位ランプを確認する。

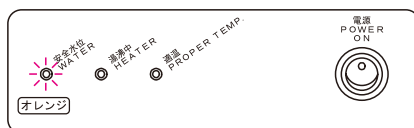
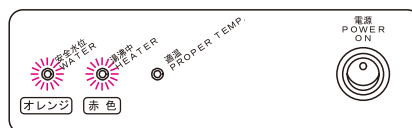
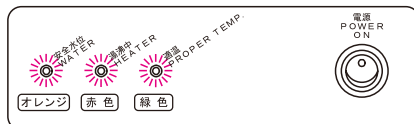
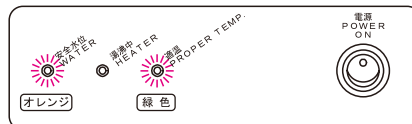
※ は点滅、※ は点灯を示しています。

運転スイッチを「ON」にすると湯槽内に給水が始まり、「安全水位ランプ」が点滅します。

4 運転開始の確認

「安全水位ランプ」が点灯に変わり、湯沸中ランプが点灯し運転が始まります。
※SB型は段階的に水位を上げながら沸かすため、すぐに大量のお湯は使えませんのでご注意ください。

5 適温ランプの確認

■ 運転状態の表示… ※ は点滅、※ は点灯を示しています。

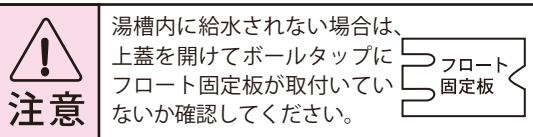
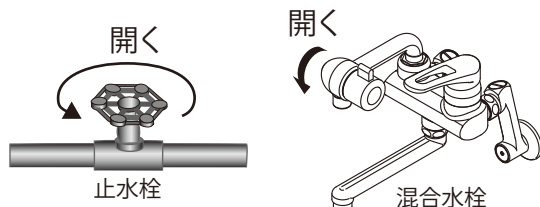
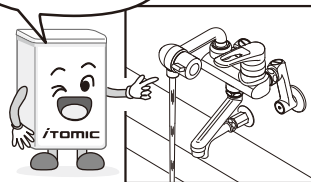
水位不足

湯沸中 適温以下

湯沸中 適温

沸き上がり

ランプが点灯、点滅しない場合やこれ以外の表示がされた場合は→ P.14「エラー表示」をご参照ください。

運転のしかた

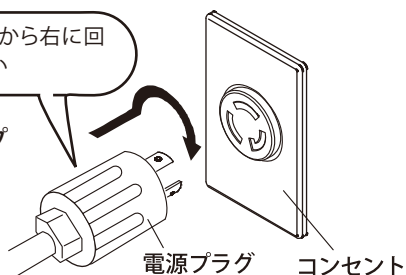
初めてお使いになるとき

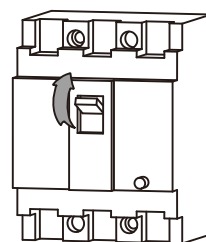
1 止水栓を開けて通水を確認する

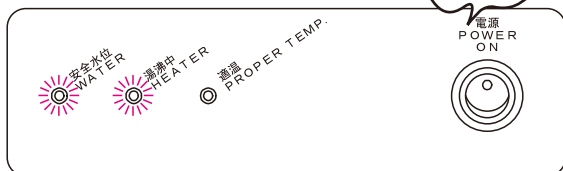
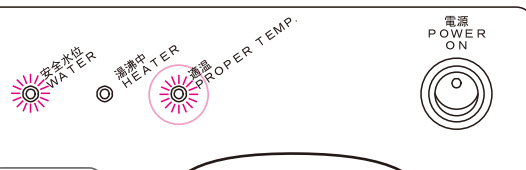
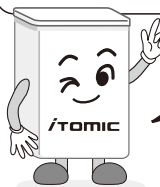
止水栓と混合水栓の湯側を全開にして、混合水栓から水が出るまで湯槽内に給水します。
混合水栓から水が出たら、混合水栓を閉めて湯沸器本体や配管部からの漏水がないか確認してください。

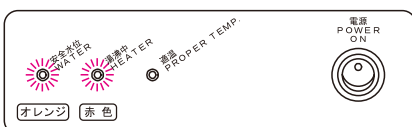
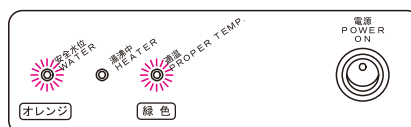
注意

湯槽内に給水されない場合は、上蓋を開けてボールタップにフロート固定板が取付いていないか確認してください。

2 電源を入れる

電源プラグがある場合は、コンセントに差してから、一次側の漏電ブレーカをＯＮにしてください。

警告

運転時、プラグはコンセントに確実に差し込み、湯沸器専用の漏電ブレーカは確実に押し上げてください。火災のおそれがあります。**濡れた手で電源の操作を行わないでください。**感電のおそれがあります。

3 スイッチをONにして、安全水位ランプの点灯を確認する

※は点灯を示しています。

4 適温ランプの確認

運転状態の表示… ※は点灯を示しています。

湯沸中

沸き上がり

ランプが点灯しない場合やこれ以外の表示がされた場合は→ P.14「エラー表示」をご参照ください。

お手入れの方法

⚠警告

	排水時は必ず本体の電源を切ってから行ってください。 感電のおそれがあります。
	濡れた手で電源の操作を行わないでください。 感電のおそれがあります。
	設置、メンテナンス時以外は本体蓋を開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
	排水時には熱湯が出ることがありますので、お湯に触れないでください。 やけどのおそれがあります。

⚠注意

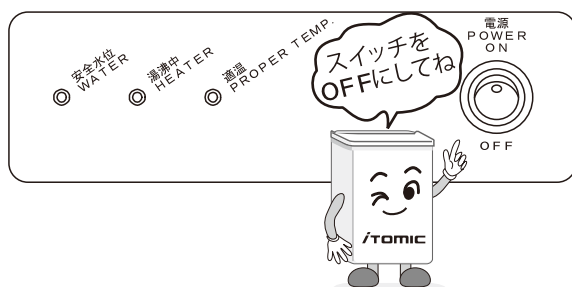
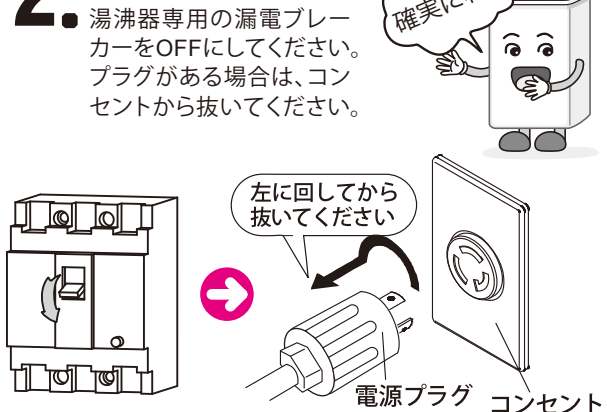
!	**長期間使用しない場合は湯槽の水を抜いてください。** 水質が悪化するおそれがあります。

■ 長期間使用しないときは（排水の方法）

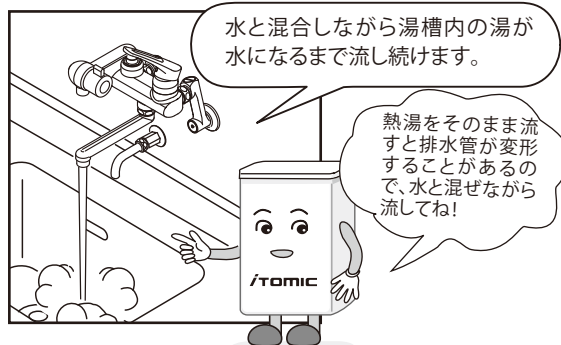
湯沸器を長期間使用しない場合には、以下の方法で湯槽内のお湯を抜いてください。

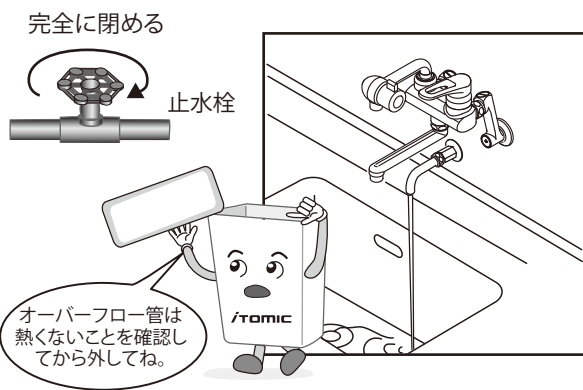
1. 運転スイッチをＯＦＦにする

2. 電源をＯＦＦにする

湯沸器専用の漏電ブレーカーをOFFにしてください。プラグがある場合は、コンセントから抜いてください。

3. 湯槽内のお湯を水にします

湯槽内のお湯が水になるまで流し続けます。（必ず水と混合して流してください。熱湯を流し続けると流し台を傷める原因になります）

※SB型は湯槽内下部に熱湯が残っていますので、十分に冷ましてから排水してください。

4. 止水栓を閉めて排水します

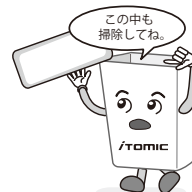
止水栓を閉めた後、上蓋を開けてオーバーフロー管をねじりながら取り外すと排水口から排水が始まります。排水が終わったらオーバーフロー管を元に戻し、蓋を閉めてください。

お手入れの方法

日常のお手入れ

<外装の清掃>

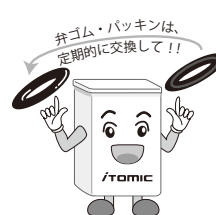
水に浸して固く絞った布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは適量に薄めた中性洗剤に浸して固く絞った布で軽く拭いてください。

<湯槽内の清掃>

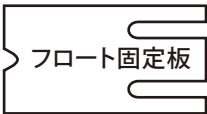
定期的に湯槽内部を点検し、スケール（水アカ）を除去してください。保証期間内であってもスケールによる不具合は保証対象外です。

<給水配管ストレーナーの清掃>

定期的に給水配管ストレーナーの清掃が必要です。取付店に清掃方法、時期などをご相談ください。

<消耗品の交換>

ボールタップ、弁ゴム、上蓋パッキンは消耗品です。（P.15 参照）定期的に交換してください。弊社フロント課もしくは裏表紙に記載の最寄りの地区販売会社にてお求めください。

保守点検項目と実施の目安･･･管理技術者の方のみ

点検するときはやけどや感電にご注意ください。
ご不明な点や不具合が見つかった場合は直ちに運転を中止し、裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。

点　検　項　目	点　検　内　容	実施の目安
管理技術者の方のみ 電圧の測定	定格電圧の±10%の範囲で使用されていることを確認してください。過電圧はコントローラー故障の原因となります。	一回／月
管理技術者の方のみ 電流値の測定	定格電流の±10%の範囲で使用されていることを確認してください。使用開始時と再使用時には特にご注意ください。	
管理技術者の方のみ ヒーター絶縁抵抗測定	絶縁抵抗計（500Vメガー）にて測定し 1MΩ以上ある事を確認してください。 **※破損するので操作回路には絶縁抵抗測定をしないでください。**	
自動給水器の作動点検（BT型のみ）	給水が正常に行われていること、水位が正常に保たれていること、オーバーフローしていないことなどを確認してください。	
コードおよび接続部の点検	コードが熱を持っていたり、損傷していないこと。また接続部の締め付けにゆるみのないことを確認してください。とくに締め付けがゆるいと焼損の原因となりますのでご注意ください。	
漏水全般についての点検	本体および各配管接続部からの漏水のないことを確認してください。	一回／日
湯槽内部の清掃	最低、年に一回以上は槽内およびヒーターの表面の湯アカ等をナイロンスポンジ(タワシ)などで清掃してください。（槽内にはセンサーなどの突起物が出ていますので折ったり破損しないように、またケガのないようにご注意ください。）	適宜
給水一次側フィルタの清掃	フィルタ内にゴミが詰まると湯沸器の性能に影響しますので最低、年に一回以上は止水栓を閉めてフィルタ内のゴミを除去してください。	

※消耗品については、P.15「アフターサービス」をご参照ください。

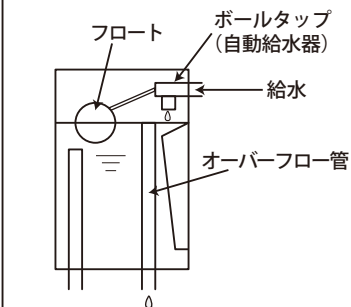
故障と思われる前に

故障かな？と思っても実際には製品の故障でないことがありますので、修理を依頼される前に次の表を参考にしてチェックしてください。

点検するときはやけどや感電にご注意ください。
ご不明な点や不具合が見つかった場合は直ちに運転を中止し、裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。

状　況	チェックポイント	処　理　方　法
運転スイッチを押しても何も点灯しない	ブレーカが OFF になっていませんか？	ON にしてください。
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？	確実に差し込んでください。
	電圧は正常ですか？	100V の製品に 200V を接続するとコントローラーが破壊され一切表示しません。 ⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
	【BT 型のみ】 止水栓が閉まっていませんか？	閉まっていたら開いてください。
	【BT 型のみ】 湯槽内のボールタップにフロート固定板が付いたままではないですか？	フロート固定板を外してください。 フロート固定板
	【BT 型のみ】 給水の途中ではありませんか？	湯槽内が満水状態になるまでお待ちください。
	【BT 型のみ】 水位センサーにスケールが付着していませんか？	スケールをナイロンスポンジ（タワシ）などで除去してください。
【SB 型のみ】 「安全水位ランプ」が点滅している 安全水位　湯沸中　適温	湯を一度に使いすぎた場合や、水を全部排水してから運転スイッチを ON にした場合に点滅します。	湯を使いすぎた場合は給湯蛇口を閉め、しばらくお待ちください。点灯に変わり、その後湯沸中ランプが点灯します。 （点滅している間は給水しますが、5 分間経過しても「安全水位」に達しない場合、給水異常となり「適温ランプ」も点滅して異常表示になります。） ⇒ P.14「エラー表示」参照
湯温がぬるい （沸き上がりが遅い）	「適温ランプ」は点灯していますか？	【BT 型】 使用したお湯の量だけ給水され、沸かし上げに時間がかかります。「適温ランプ」が点灯するまでしばらくお待ちください。 【SB 型】 湯量、湯温共に低下しています。「適温ランプ」が点灯するまでしばらくお待ちください。
	配管距離が長くありませんか？	配管距離が長い場合、冷水が配管に溜まっていますので、しばらく流してからご使用ください。

故障と思われる前に

状　況	点　検　事　項	処　理　方　法
湯量が少ない 湯も水も出ない	毎分 3 ～ 4 ﾘｯﾄﾙ位ですか？	大気開放型（落差給湯方式）のため、流量を増やす事はできません。
	給湯蛇口は吊り駒式ですか？	給湯圧力が低いため、市販の蛇口ではお湯の出が悪くなる場合があります。専用給湯蛇口（吊り駒式）をお使いください。
	止水栓は全開になっていますか？	全開にしないと十分な流量が出ません。
	立ち上げ水栓ですか？	立ち上げ水栓の場合は下に長く配管すると抵抗が大きくなり、エアーも溜まりやすくなるので湯の出方が悪くなります。必要な場合は配管の見直しを行ってください。
	給水口接続部のフィルタにゴミが詰まっていませんか？	止水栓を止め、フィルタの清掃をしてください。
給水時、湯沸器本体および配管に振動音がする	給水圧が高くありませんか？	給水圧が高い（0.3MPa を超える場合）と振動音「ウォーターハンマー現象」が起きる場合があります。弊社の一軸型減圧弁「いちじく（iJG-1）」のご使用をおすすめします。 ⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
	給水管に長いフレキ管を使用していませんか？ また、配管支持はしっかりされていますか？	配管を固定されていないと振動音が出ることがありますのでしっかりと固定してください。
給湯蛇口を閉めても湯が止まらない	給湯蛇口のパッキンが古くなっていませんか？	パッキンの交換を行ってください。 ⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
湯が臭い 湯が汚れている	設置直後ではありませんか？	設置直後などは配管工事の際の切削油等が流入する事がありますので、その場合は湯槽内の湯を数回入れ替えて洗浄してください。
漏水している	オーバーフロー管からですか？ （SB 型は P.14「エラー表示」参照） フロート ボールタップ（自動給水器） 給水 オーバーフロー管	オーバーフロー管から漏水している場合、ボールタップ（自動給水器）の弁ゴムの交換、もしくは給水圧力の調整が必要となります。 ⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
	配管接続部からですか？	配管接続部を締め直してください。

エラー表示

本器は各種の故障診断機能を備えています。故障や問題が発生したときには、ランプ表示でエラーが表示されます。
エラー表示がされた時は、**エラー表示を確認後、運転スイッチを切ってください。**

◎：ランプ点滅　○：ランプ点灯　－：ランプ消灯

SB型 エラー表示

ランプ表示			異常内容	原因と処理の方法
オレンジ	赤	緑		
○	◎	－	過昇温検出（設定温度より温度が高くなった）	ヒーター用リレー溶着 ⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
◎	－	◎	給水異常	・給湯蛇口を開け放しにした ・止水栓が閉じられた ・断水 ・下部の水位センサースケール付着 ⇒給湯蛇口や止水栓の状態をご確認ください。スケール付着の場合はナイロンタワシなどで除去します。
○	◎	◎	オーバーフロー	・上部センサースケール付着 ⇒スケールをナイロンタワシ等で除去します。 ・自動給水弁故障 ⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
○	－	－	ヒーター断線	⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
○	－	◎	温度センサー故障	⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
－	－	－	・電源が入っていない ・水位異常 ─ **水が入ってない** 　　　　　└ **水が入っている** ・その他	⇒電源を入れてください。 ・止水栓が閉じられた ・断水 ・水位センサースケール付着 ⇒止水栓をご確認ください。スケール付着の場合はナイロンタワシなどで除去すれば直ります。 ⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社へご連絡ください。

BT型 エラー表示

ランプ表示			異常内容	原因と処理の方法
オレンジ	赤	緑		
○	－	－	・温度センサー故障 ・過昇温検出（設定温度より温度が高くなった）	⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社へご連絡ください。
－	－	－	SB型と同様	SB型と同様

お困りの時

アフターサービス

消耗品について

下記に記載の部品は定期的に交換が必要な消耗品です。劣化による動作不良や漏水を防止するため定期的に交換してください。（下表参照）交換（有償）、購入のご依頼は弊社フロント課もしくは裏表紙に記載の最寄りの地区販売会社にご依頼ください。

部品名	型式	交換時期の目安	交換いただく理由
弁ゴム	BT型	設置、交換日より2年	長期間ご使用いただくことにより、経年劣化やスケール ※による動作不良や漏水を起こす可能性があります。漏水が起きた場合大きな被害を与えることがありますので、交換することによりそれらを防止します。（※水道水中のミネラル分が固着したもの。）
負圧破壊弁	共 通	設置、交換日より2年	
上蓋パッキン類	共 通	設置、交換日より3年	
ヒーター	共 通	設置、交換日より5年	
自動給水弁	SB型	設置、交換日より5年	
ボールタップ フロート	BT型	設置、交換日より5年	

※上記以外でもパッキン類や電気部品交換が必要になる場合があります。使用頻度・環境によっては交換時期が早まる場合があります。

補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後７年です。

修理をご依頼の際には

修理をご依頼される時は下記の故障状況シートのコピーに必要事項をご記入いただき、FAX にてご送付ください。FAX をお使いになられていない場合は記入事項をお電話にてご連絡ください。
型番等は本体に貼られている保証票に印刷されていますので、故障状況シートへ転記してください。

(株)日本イトミック フロント課 FAX 03-3621-2163（TEL 03-3621-2161）
※もしくは裏表紙に記載の最寄り地区販売会社へご連絡ください。

故 障 状 況 シ ー ト			
貴 社 名		ご 担 当 者	
住 所			
T E L		F A X	
型 番			
電源、電力		製 造 番 号	
設 置 場 所		保 証 期 限	
状態、エラー表示等			

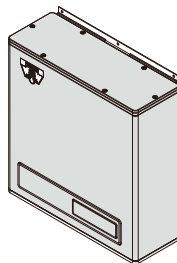
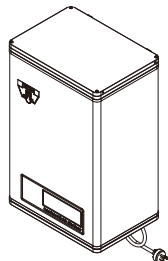
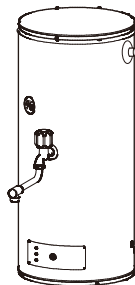
お困りの時

施工前の準備

■ 施工前にご確認ください

部品の確認

【同梱されています】

湯沸器本体

【EW-N3A】　【EW-N4A】　【ET-N4A】

付属品（全型番共通）

取扱説明書× 1
（この冊子です。当冊子は工事終了後、ご使用になられる方へお渡しください。）

EW-N3A型 付属品	EW-N4A型 付属品	ET-N4A型 付属品
1/2B給湯フレキ管（L=120）× 1 1/2B給水フレキ管× 1 BT型（L=200）、SB型（L=120） 3/4B排水フレキ管（L=120）× 1 止水栓× 1 本体取付板× 1	1/2B給湯フレキ管（L=120）× 1 3/4B排水フレキ管（L=120）× 1 本体取付板× 1 ローレットねじ× 2	耐震バンド× 1 ET-12/20N4Aの場合 自在水栓×1 ET-40 ～ 180N4Aの場合 胴長水栓×2

【必ずお客様にてご手配ください】

EW-N3A型

①漏電ブレーカ　・・・・・万一の故障や漏電した際の事故を防止します。（30mA・0.1秒）

②混合水栓　・・・・・・・・弊社の『まぜまぜ』シリーズが必要です。（次ページ「混合水栓について」参照）。

③取付部材　・・・・・・・・湯沸器を壁面に取り付けるために必要です。

EW-N4A型

①漏電ブレーカ　・・・・・万一の故障や漏電した際の事故を防止します。（30mA・0.1秒）

②給水管　・・・・・・・・・給水口を接続するために1/2Bフレキ管が必要です。

③止水栓　・・・・・・・・・排水やメンテナンス時に給水を止めるため必要です。

④混合水栓　・・・・・・・・弊社の『まぜまぜ』シリーズが必要です。（次ページ「混合水栓について」参照）

⑤取付部材　・・・・・・・・湯沸器を壁面に取り付けるために必要です。

ET-N4A型

①漏電ブレーカ　・・・・・万一の故障や漏電した際の事故を防止します。（30mA・0.1秒）

②オーバーフロー管　・・・オーバーフロー（排水）口を接続するために3/4B排水フレキ管が必要です。（湯沸器からシンクまでの長さが必要です）

③給水管　・・・・・・・・・給水口を接続するために1/2Bフレキ管が必要です。

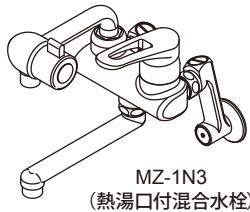
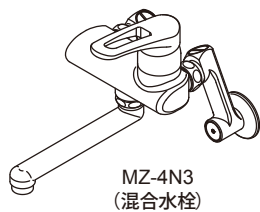
④止水栓　・・・・・・・・・排水やメンテナンス時に給水を止めるため必要です。

全型番共通

①袋ナット、ユニオン　・・・湯沸器を取り外せるよう施工するために必要です。

施工前の準備

重要：混合水栓について

開放型のEWシリーズの給湯圧力は落差分だけのため 、通常の水道のような水圧はありません。そのため一般の混合水栓では十分ミキシングができませんので、必ず熱湯口付混合水栓『まぜまぜ』シリーズ（型式：MZ-N3）をご用意ください。

MZ-1N3
（熱湯口付混合水栓）

MZ-4N3
（混合水栓）

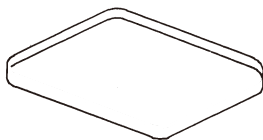
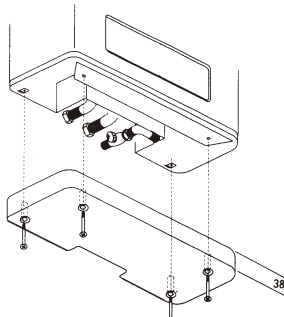
【EW専用まぜまぜ（MZ-N3シリーズ）ラインナップ】

MZ-1N3（熱湯口あり、埋込み配管型）
MZ-2N3（熱湯口あり、露出配管型、EW-N3専用）
MZ-3N3（熱湯口あり、立ち上がり配管型）
MZ-4N3（熱湯口なし、埋込み配管型）
MZ-5N3（熱湯口なし、露出配管型、EW-N3専用）
MZ-6N3（熱湯口なし、立ち上がり配管型）
MZ-7N3（熱湯口あり、埋込み／露出配管型）
MZ-8N3（熱湯口あり、埋込み／露出配管型、EW-N4専用）
MZ-9N3（熱湯口あり、露出配管型、EW-N4専用）

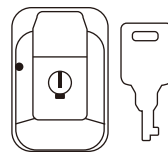
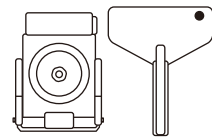
EWシリーズと『まぜまぜ』シリーズ（型式：MZ-N3）を組み合わせてご使用になる場合には、給水源が『タンク以下』であることをご確認ください。**水道直結ではご使用いただけません。**

【関連商品：必要な場合は弊社にご用命ください】

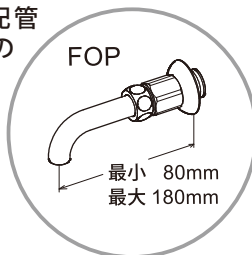
配管カバー（EWシリーズ）

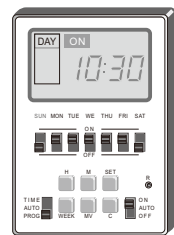
埋め込み配管の現場で配管を外部に見せたくない場合、本体下部に装着して配管を隠します。

EW-N4用

EW-N3用（取り付け方）

パチン錠、ターンキャッチ

外部からの異物混入や地震などによる湯の飛散を防止します。

パチン錠

ターンキャッチ

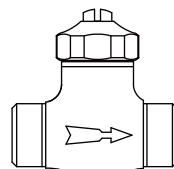
オーバーフローパイプ FOP （EW-N3/N4の埋込み配管用）

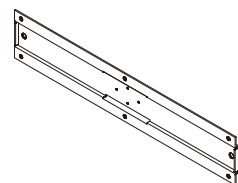
EW-N3およびEW-N4の配管を埋込み配管にする場合のオーバーフロー処理用にお使いください。

デジタルタイマー（ET-N4A）

組み込み型で湯沸器本体にすっきり収納されるデジタル式タイマー。汎用的運転パターン「おすすめプログラム」をインプット済みで非常に便利。勿論、毎日異なったプログラム設定も可能です。

一軸型減圧弁 いちじく（iJG-1）

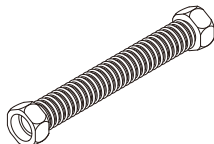
わずか4.4cmの小型減圧弁。ウォーターハンマー防止、ボールタップの止水能力アップに効果的です。
※給水圧が0.3MPaを超える場合は、必ずお取り付けください。

止水栓（EW-N4、ET-N4A用）

給水配管中に止水栓が必要です。

本体取付板アダプター（EW-N3用）

EW-N3をふかし壁に取り付ける際にお使いください。

ステンレスフレキ管

給水、給湯、排水管にご使用ください。お客様のご都合により長さ指定が可能です。

仕様・工事説明

工事説明

湯沸器の取り付け

⚠警告

屋外に設置しないでください。
感電、故障の原因となります。

本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。
発火のおそれがあります。

湿気の多い場所や浴室には設置、使用しないでください。
水が掛かったり結露が生じる場所で使用すると故障、感電のおそれがあります。

⚠注意

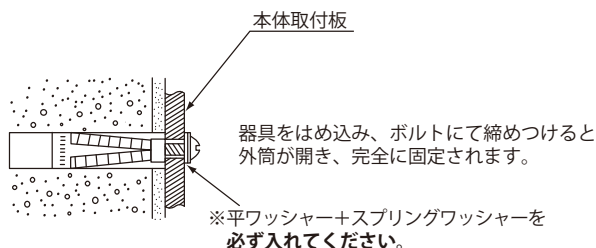
EW シリーズ：本体は湯沸器の満水質量に耐えられる十分な強度を持つ壁面に必ず垂直に設置してください。
落下の原因となります。

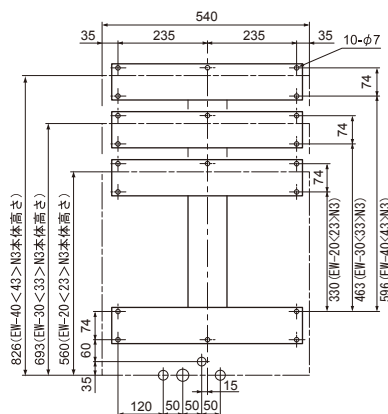
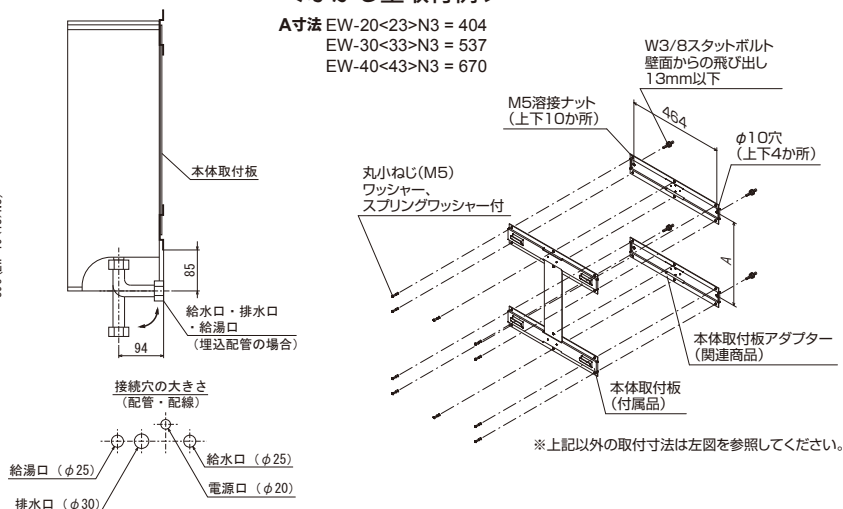
ET シリーズ：本体は湯沸器の満水質量に耐えられる十分な強度を持つ調理台などに必ず水平に設置し、付属の耐震バンドで壁面に必ず垂直に固定してください。
転倒、漏水の原因となります。

【設置場所についての注意事項】

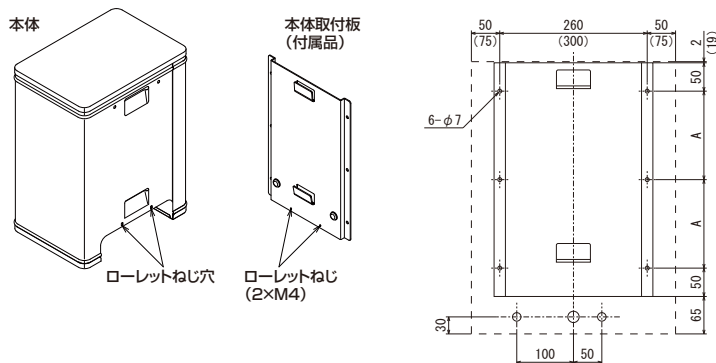
(1) 本体を取り付ける際には壁面が垂直であること、湯沸器の満水質量に対し十分な強度があることを確認してください。
(2) 設置場所にメンテナンススペースがあることを確認してください。

壁掛型手順	1. 壁面に本体取付板を下記の要領で取り付ける。 2. 本体取付板の引っ掛けツメを湯沸し器裏側にある取付穴に引っ掛けて取り付ける。

<コンクリート壁取付例>※ AY ボルト取付例

EW-N3A 型

…消防法設置基準に基づく離隔距離はP.4 をご参照ください。

■ EW-N4A 型

…消防法設置基準に基づく離隔距離はP.5をご参照ください。

取付板のローレットねじ(2本)を取り外してから、本体を壁面に設置した取付板に引っ掛けます。
本体を取付板に引っ掛けたら本体と取付板をローレットねじで固定します。

〈寸法〉　(単位mm)

機　種	A寸法
EW-12／14-N4	156
EW-20／22-N4	216
EW-30／32-N4	290
EW-45／48-N4	255
EW-65／68-N4	342

置台型手順	1. 湯沸器の設置場所が満水質量に耐えられる水平な場所かを確認する。 2. 本体を設置する。

■ ET-N4A 型

…消防法設置基準に基づく離隔距離はP.6をご参照ください。

湯沸器の設置場所が満水質量に十分耐えられることを確認してから水平に設置してください。
付属の耐震バンドで湯沸器を固定してください。

■ 配管工事

⚠注意

	湯沸器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。
	水道水以外は使用しないでください。 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。
	給湯、給水接続配管はステンレス製もしくは銅製のものを使用してください。 漏水の原因となります。
	BT 型：満水にしてから通電してください。 故障の原因となります。
	規定の給水圧力にてご使用ください。給水圧が高い場合は必ず減圧弁を取り付けてください。 誤動作、故障の原因となります。
	水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。 湯槽や配管が破損してやけどをするおそれがあります。

【配管工事についての注意事項】

(1) 全ての配管は湯沸器がいつでも着脱できるように必ずユニオンや袋ナットなど（お客様手配品）を使用して取り外し可能な状態にしてください。また給水一次側には必ず止水栓を設けてください。(止水栓はEW-N3では付属品、EW-N4およびET-N4Aではお客様手配品となります。)

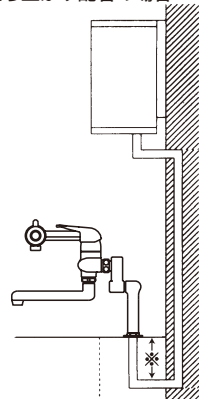
(2) 給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用し、排水配管は耐熱性のものを使用してください。

(3) 給水圧力が0.3MPaを超える場合には、必ず一次側に減圧弁を取り付けてください。(関連商品の『いちじく(iJG-1)』(P.17参照)をご発注いただくか、別途お客様にてご手配ください。)

(4) 給水管に30cm以上フレキ管を使用する場合は必ず壁に固定してください。固定しないとウォーターハンマー現象が起きる場合があります。

(5) 給湯配管の横引き距離は落差距離の3倍までにしてください。給湯栓はまぜまぜ(MZ-N3シリーズ)もしくは湯水の出がよい吊り駒式のものを使用してください。

(6) 給湯圧力は落差分しかありません。立ち上がり配管の場合は右図※部の立ち上がり距離を短くしてください。また、配管内に空気溜りがあるとお湯が出ませんので、空気抜きを行ってください。

(6) 立ち上がり配管の場合

※できるだけ短くする

(7) 排水管に直接排水を行う配管接続にすると、クロスコネクションになるだけでなく排水時の熱湯による熱影響によって配管各接続部より漏水を起こす原因となりますので、排水はシンク（流し）に排水するように配管施工してください。

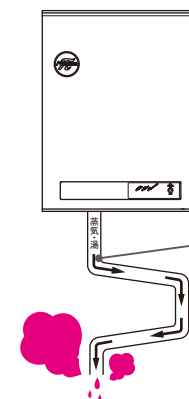
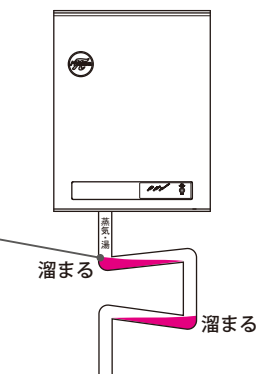
EWシリーズを取り付ける現場が埋め込み配管の場合は関連商品の壁面取付用オーバーフローパイプ（FOP）をお使いいただくと、簡単に施工できます。

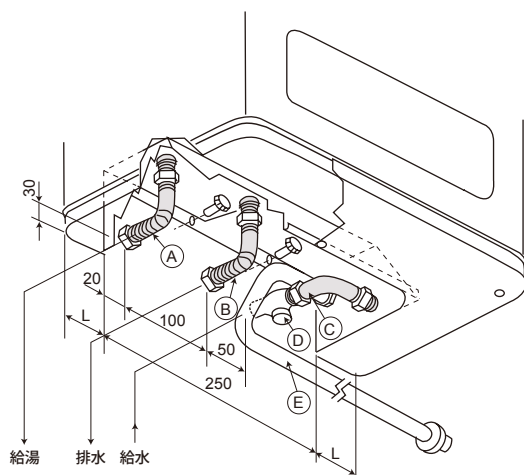
また、排水管の施工を行う際には、必ず下り勾配にするとともに、絶対にバルブは設けないでください。（右図参照）万一オーバーフロー（排水）管が塞がれた場合、湯気が水として溜まるため、湯気が出にくくなります。

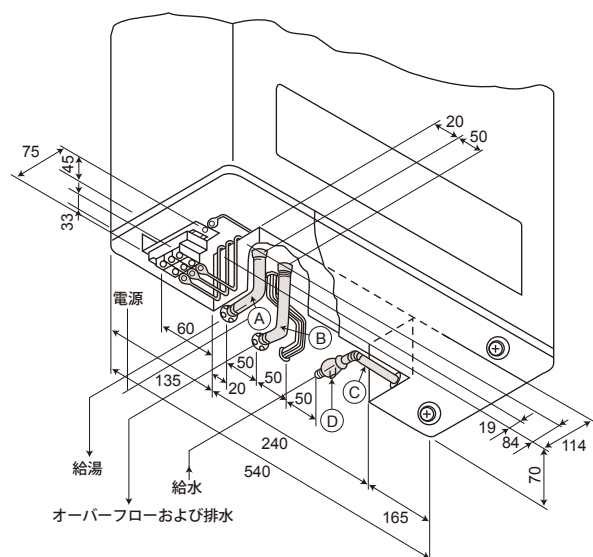
(8) 排水管の先は必ず排水口空間を確保し、間接排水としてください。

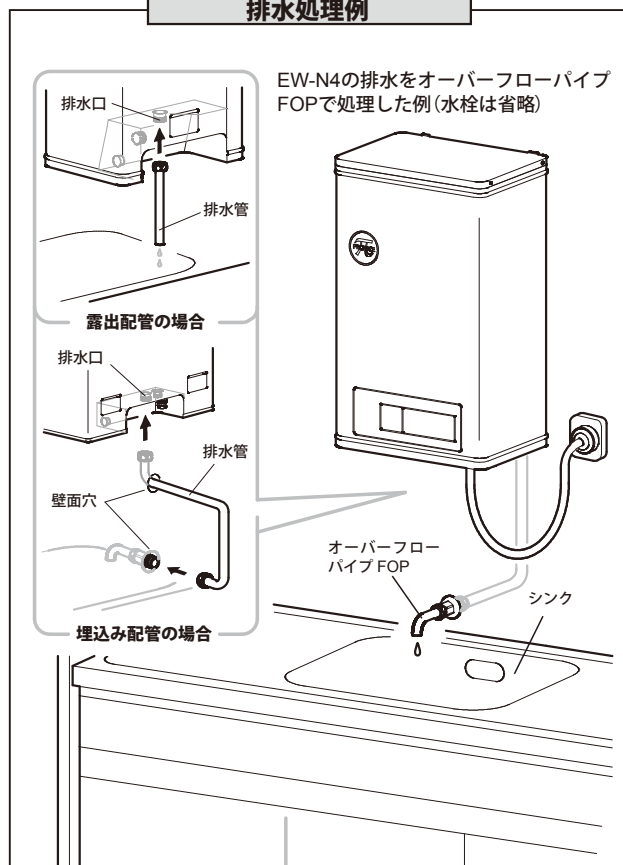
(7) 排水管の下り勾配配管図

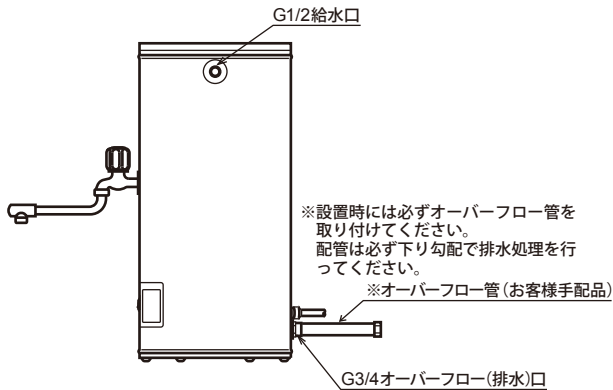
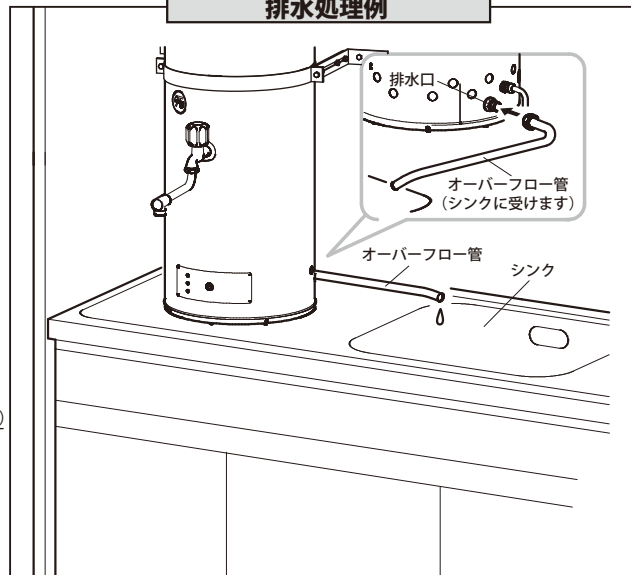
◎【正しい配管】　✕【間違った配管】

排水管　溜まる　溜まる

下り勾配で正しく配管されていれば湯気がオーバーフロー管から排出される。

下り勾配で配管されていないと、湯気や排水が溜まって排水管を塞いでしまい、上蓋のすき間から湯気が吹き出す原因となる。

■ EW-N4A型配管例

配管セット（給湯、排水フレキ管）は標準付属品です。
A：1/2B 給湯フレキ管（L=120）
B：3/4B 排水フレキ管（L=120）
C：1/2B 給水フレキ管（L=100）（関連商品）
D：止水栓（関連商品）
E：電源コード 0.7m
L：寸法　55（12 ～ 32N4）
　　　　100（45 ～ 68N4）

■ EW-N3A型配管例

止水栓 / 配管セット（給湯、給水、排水フレキ管）は標準付属品です。
A：1/2B 給湯フレキ管(L=120)
B：1/2B 給水フレキ管(BT 型は L=200、SB 型は L=120)
C：3/4B 排水フレキ管(L=120)
D：止水栓 （関連商品）

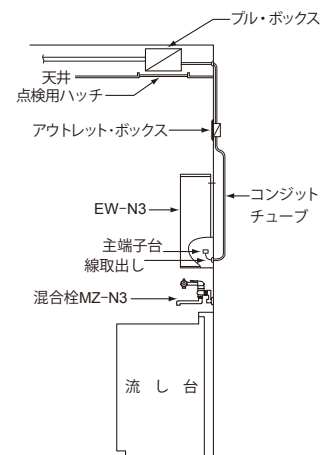
排水処理例

ET-N4A型

給水と排水の配管を行ってください。

排水処理例

電気工事

⚠警告

	アース（D種接地）工事を確認してください。 アース工事がされないと故障や漏電発生時に感電するおそれがあります。
	電圧は定格電圧の± 10%以内でお使いください。 火災の原因となります。
	必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。 万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。
	絶対に改造はしないでください。 火災、感電、やけど、ケガの原因となります。

EW-N3A型

EW-N3 型は意匠面を考慮し、電源コードおよびプラグを付属していません。従ってアウトレットBOX等を設けていただき、そこから湯沸器内の端子台までの接続工事をお願いいたします。また、緊急時の遮断用として手の届く位置に手元盤（漏電ブレーカ）を設けてください。

EW-N3A型以外

電源プラグをコンセントにしっかり差し込んで、漏電ブレーカを ON にしてください。

電源	ヒーター容量	プラグ形状	許容量	対応コンセント（パナソニック品番）
単相 100V	1.1kW以下		125V15A	WF3002EK、WK3001W
	1.5kW以下		250V20A	WF2520B/W、WK2520B/W
単相 200V	3.1kW以下		250V20A	WF2520B/W、WK2520B/W
	5kW以下		250V30A	WF2330B/W、WK2330

※ 1：プラグ形状は電源とヒーター容量によって異なります。
※ 2：電源コード長は EW-N4 型が 0.7m、ET-N4 型が 1.5m です。

確認事項

工事終了後、下記の事項を必ずご確認ください

Check	項目	内容
Check □	1. 供給電圧の確認	定格電圧の±10%以内でご使用ください。過電圧の場合、ヒーターの寿命が著しく短くなり電子部品が破損する場合があります。（通常ヒーターの寿命は使用頻度や水質、保守などにより異なります。）低電圧の場合、機器の運転ができなくなります。 メモ　電圧の測定はテスターでコンセントに通電している電圧を測ってください。（測定後、コンセントにプラグをしっかり差し込んでください。） ⚠注意　アース付きコンセントの場合には接地極に電圧はかかりません。
Check □	2. 取り付け状態および強度の確認	取り付け状態、壁の強度を確認してください。
Check □	3. フロート固定板の取り外しの確認（BT型のみ）	上蓋を開け、湯槽内のフロート固定板を必ず取り外してください。（フロート固定板）
Check □	4. 通水の確認（BT型のみ）	止水栓を開き、湯槽内に給水してください。この時、混合水栓を開き配管内のゴミなどが流れるように10分ほど出し続けてください。混合水栓を開いても水が吐出しない場合は水位が低すぎるためです。水位は給水圧力により変わりますので、この場合はフロートのアームを曲げてフロートが若干上になるようにしてください。水位が正常でも蛇口が吊り駒式でないと正常に吐出しませんのでご注意ください。 ボールタップ（自動給水器） 給水 オーバーフロー管 Oリング
Check □	5. ボールタップ部の動作確認（BT型のみ）	自動給水装置ですので、使用した湯量分の水を自動的に補給します。（1リットル出湯すれば1リットル給水されます。）万一、オーバーフローしていると「湯が沸かない」などの不具合となりますのでご注意ください。また、補給水が不足すると給湯時、湯面が下がって混合水栓を開いても給湯することができません。従って、常に正常に作動していることを確認する必要があります。
Check □	6. 給水配管ストレーナーの詰まりの確認	給水配管ストレーナーにゴミが詰まっていないか確認してください。
Check □	7. 配管および接続部の確認	各配管および接続部を確認し、漏水がないか確認してください。 プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。

無料修理規定

本規定は、保証票に記載された製品につき、納入から1年の間に故障が発生した場合、下記記載内容に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。保証票に記載された製造番号をご提示の上、最寄りの地区販売会社もしくは弊社フロント課にご依頼ください。

1. 取扱説明書・製品本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、最寄りの地区販売会社もしくは弊社フロント課にご依頼の上、修理に際して保証票に記載された製造番号をご提示ください。なお、遠隔地（離島および離島に準ずる遠隔地）への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前に最寄りの地区販売会社もしくは弊社フロント課にご相談ください。
4. 補償範囲は機能部とその付属品のみで、配管類は含みません。
5. 保証期間内でも次の場合は保証の対象とならず、有料修理となります。
   （１）お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等に記載された手順・注意を守らなかったことによる不具合や、部品・湯槽内の清掃など日常のお手入れを行わなかったことによる不具合※1
   （２）Oリング・パッキン類の摩耗・劣化による不具合や、電池の消耗による不具合
   （３）工事要領に指示する方法に基づかない施工や工事設計による不具合※2
   （４）輸送・搬入・移動の際の落下・転倒・接触等による不具合
   （５）専門業者以外による移動・分解・修理・改造などによる不具合
   （６）指定規格以外の電気（電圧・周波数など）の使用や電力契約の間違いによる不具合
   （７）温泉水・井戸水など水道水以外の水を給水したことによる不具合
   （８）設備側の排水不良等による冠水により生じた不具合
   （９）電気・給水の供給トラブル等による不具合
   （10）配管の錆・砂・ゴミ等異物の流入による不具合
   （11）建築躯体の変化などに起因する不具合や、塗装の色あせなどの経年変化またはご使用に伴う摩耗等による外観上の不具合
   （12）火災、爆発等の事故、地震・津波・噴火・風水害・雷などの天災や地変、煤煙、降灰、酸性雨、凍結、海岸付近や温泉地等の地域における腐食性の空気環境、ほこり、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・昆虫などの動物の行為、または戦争・暴動など破壊行為による不具合
   （13）保証票の提示が無い場合
6. 無料修理により交換された部品や製品は（株）日本イトミックの所有となります。
7. 製品の保証は日本国内におけるご使用の場合のみ有効です。

※1：日常のお手入れとはお客様ご自身で行えるもののほかに、設備業者や管理技術者に依頼が必要なものがございます。製品や部品によってお手入れ方法や時期が大きく異なりますので、取扱説明書やラベル等を必ずご確認いただくとともに、不明点は最寄りの地区販売会社もしくは弊社フロント課にご相談ください。

※2：製品によって施工方法や注意事項が大きく異なりますので、施工時には工事要領を必ずご確認いただくとともに、不明点は最寄りの地区販売会社もしくは弊社フロント課にご相談ください。

■お客様へ

1. 製品をお受け取りになる際は、製造番号が記載されている保証票が貼り付けられていることを確認してください。
2. 保証票の再発行はいたしません。
3. 機器が正しく運転しない場合や不調な場合は、修理ご依頼の前に「こんなときは」の項をご覧ください。
4. 無料修理期間経過後の故障・修理等につきましては、「アフターサービス」の項をご覧いただくか、最寄りの地区販売会社もしくは弊社フロント課までお問い合わせください。
5. 保証票によって、保証票を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社日本イトミック

本社・営業本部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL : 03 (3621) 2121 (代)**
FAX : 03 (3621) 2130
〒 130-0002　東京都墨田区業平 5-11-3（イトミックビル）
ホームページ　http://www.itomic.co.jp/

《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

一般電話・公衆電話の場合（市内通話料金でご利用可能です）

0570-011039

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。　その場合には、時間をおいて再度おかけ直しください。
※ＰＨＳ、ＩＰ電話からはご利用になれません。その場合には関東・近畿地区のお客様はフロント課、その他の地域のお客様は最寄りの地区販売会社まで直接お電話ください。

フロント課 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL : 03 (3621) 2161 (代)**
FAX : 03 (3621) 2163

《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル課までご連絡ください。
また、部品のご注文はフロント課で承っています。

リニューアル課 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL : 03 (5860) 4992 (代)**
FAX : 03 (3621) 2163

《営業所・地区販売会社》

北海道地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:011 (615) 6681 (代)**
（株）北海道イトミック　**FAX : 011 (615) 7004**
〒 063-0801　北海道札幌市西区二十四軒 1 条 5-1-10（ラポール 24 軒 2 号館）
担当エリア：北海道地区全域

東北・新潟地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:022 (773) 6161 (代)**
（株）東北イトミック　**FAX : 022 (773) 6213**
〒 981-3125　宮城県仙台市泉区みずほ台 4-3
担当エリア：青森県／岩手県／秋田県／山形県／宮城県／福島県／新潟県

関東地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:03 (3621) 2121 (代)**
（株）日本イトミック　**FAX : 03 (3621) 2130**
〒 130-0002　東京都墨田区業平 5-11-3（イトミックビル）
担当エリア：東京都／千葉県／埼玉県／茨城県／栃木県／群馬県／山梨県／神奈川県／静岡県

中部・北陸地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:052 (222) 2561 (代)**
（株）中部イトミック　**FAX : 052 (222) 2559**
〒 460-0002　愛知県名古屋市中区丸の内 1-4-12（アレックスビル 3F）
担当エリア：富山県／石川県／福井県／岐阜県／愛知県／三重県／長野県

近畿地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:06 (6226) 0800 (代)**
（株）日本イトミック　関西営業所　**FAX : 06 (6226) 0802**
〒 541-0048　大阪府大阪市中央区瓦町 3-4-7（KC ビル 9F）
担当エリア：大阪府／京都府／滋賀県／和歌山県／奈良県／兵庫県

中国・四国地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:082 (240) 1361 (代)**
（株）中国イトミック　**FAX : 082 (240) 1363**
〒 730-0051　広島県広島市中区大手町 1-7-12（徳永ビル）
担当エリア：鳥取県／島根県／岡山県／広島県／山口県／香川県／徳島県／愛媛県／高知県

九州・沖縄地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL:092 (481) 3911 (代)**
（株）九州イトミック　**FAX : 092 (481) 3930**
〒 812-0007　福岡県福岡市博多区東比恵 3-28-5
担当エリア：福岡県／佐賀県／長崎県／大分県／熊本県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

この印刷物は、再生紙と植物油インクを使用しています。

K400D10001-9

'12.07-11-1-1.8 Ⓘ